

函館工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	高専生のコミュニケーション入門
科目基礎情報					
科目番号	0008		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	社会基盤工学科		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	内容に応じて適宜配布する。(A4ファイルを売店で購入すること。)				
担当教員	奥平 理, 中村 和之, 泊 功, 鳴海 雅哉				
到達目標					
1、与えられた課題について、仲間と協議し、結論を導き出すことができる。 2、他者の前で、ハキハキと、理路整然と発表することができる。 3、課題について、自らの考えを適切に文章化することができる。 4、与えられたテーマから、課題を発見し、解決法を考えることができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	課題について、議事を適切に進め、まとめることができる。	課題について、議事進行に協力することができる。	話し合いに協力することができない。		
評価項目2	他者の前でハキハキ、理路整然と発表することができる。	他者の前で、大きな声で発表することができる。	人前で発表することができない。		
評価項目3	自らの考えを適切に文章にまとめることができる。	自らの考えを、文章にまとめようとする可以尝试。	考えを文章にまとめることができない。		
学科の到達目標項目との関係					
函館高専教育目標 A 函館高専教育目標 D 函館高専教育目標 E					
教育方法等					
概要	高専生としての調和のとれた育成を目指すため、新入生であるということ、各学生の心身の発達段階及び特性等を十分考慮し、本校の初年次教育としての科目として、よりよい生活態度や望ましい人間関係を築くこと、適切な進路意識を持つことを目標とする。具体的には、コミュニケーション活動を通して、対話経験を積み、社会や身の回りの諸問題について検討し、社会に旅立つための準備をしていく。				
授業の進め方・方法	テーマについてのグループ討議、各グループごとの発表、教員による講義・講話				
注意点	積極的に参加すること。授業中に関係の無い言動があったり、不要の者を操作していたりした場合は、相応の減点措置とする。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス、課題の書き方、提出の仕方	講義の目的や課題の書き方、提出方法を理解することができる。	
		2週	図書館の使い方	図書館の使い方を理解することができる。	
		3週	スマホのメリット・デメリット①	スマートフォンの良い面、悪い面について検討することができる。	
		4週	スマホのメリット・デメリット②	スマートフォンの良い面、悪い面について理解することができる。	
		5週	スタディサポート振り返り①	スタディサポートの結果について分析することができる。	
		6週	スタディサポート振り返り②	スタディサポートの分析結果を理解することができる。	
		7週	未成年の喫煙と飲酒	未成年の喫煙や飲酒の危険性を理解することができる。	
		8週	前期中間試験		
	2ndQ	9週	試験答案返却・解答解説	間違った問題の正答を求めることができる。	
		10週	ハラスメント①	人間関係で不快を感じる場面について検討することができる。	
		11週	ハラスメント②	他者に不快感を与えない行動について理解することができる。	
		12週	男女関係について気をつけること(性①)	思春期の性問題について、検討することができる。	
		13週	性の問題—デートDVや出会い系—(性②)	性の話題を通して、適切な知識を理解することができる。	
		14週	フューチャーマッピング作成①	フューチャーマッピングを作るために、夏季休業から学年末にかけての目標を設定することができる。	
		15週	※前期末試験は実施しない		
		16週	フューチャーマッピング作成②	前時で設定した目標を達成するためのフューチャーマッピングを作ることができる。	
後期	3rdQ	1週	自己実現に向けて①(進路について考える)	将来に向けて、自分の進路志望を考えることができる。	
		2週	自己実現に向けて②	将来に向けて、自分の進路志望を考えることができる。	
		3週	自己実現に向けて③(「仕事」とは何か)、「合同企業説明会」について	なぜ人は「仕事」をするのかを考えることができる。年度末に開催される「合同企業説明会」のを知ることができる。	
		4週	自己実現に向けて④	「仕事」について、適切な認識を持つことができる。	
		5週	自己実現に向けて⑤(キャリアデザイン講座) ※週の変更ありうる	進路選択について、適切な認識を持つことができる。	
		6週	自己実現に向けて⑥(未来はどのようになるか)	未来の社会を想像することができる。	

4thQ	7週	自己実現に向けて⑦	未来の社会に対して、柔軟に対応することについて考えることができる。
	8週	後期中間試験	
	9週	試験答案返却・解答解説	間違った問題の正答を求めることができる。
	10週	スタディサポート振り返り①	スタディサポートの結果について分析することができる。
	11週	スタディサポート振り返り②	スタディサポートの分析結果を理解することができる。
	12週	自立した生き方①（家庭・家族と自分）	家族の中における自分について考えることができる。
	13週	自立した生き方②	家族や家庭の社会的役割について理解することができる。
	14週	1年間を振り返る①	1年間の学習・生活を振り返り、他者と比較することができる。
	15週	※学年末試験は実施しない	
	16週	1年間を振り返る②、アンケート、「合同企業説明会」案内	1年間の学習・生活を振り返り、反省することができる。年度末に開催される「合同企業説明会」について興味を抱くことができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	他者の意見を聞き合意形成することができる。	2	前3,前5,前7,前8,前10,前12,前14,後1,後3,後6,後8,後10,後12,後14	
			合意形成のために会話を成立させることができる。	2	前3,前5,前7,前8,前10,前12,前14,後1,後3,後6,後8,後10,後12,後14	
			グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	2	前3,前5,前7,前8,前10,前12,前14,後1,後3,後6,後8,後10,後12,後14	
			目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	2	前3,前5,前7,前8,前10,前12,前14,後1,後3,後6,後8,後10,後12,後14	
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16

				目標の実現に向けて計画ができる。	2	前2,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後2,後4,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	2	前3,前5,前7,前8,前10,前12,前14,後1,後3,後6,後8,後10,後12,後14
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	2	前3,前5,前7,前8,前10,前12,前14,後1,後3,後6,後8,後10,後12,後14
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	2	前3,前5,前7,前8,前10,前12,前14,後1,後3,後6,後8,後10,後12,後14
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	2	前3,前5,前7,前8,前10,前12,前14,後1,後3,後6,後8,後10,後12,後14
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	2	前3,前5,前7,前8,前10,前12,前14,後1,後3,後6,後8,後10,後12,後14
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	2	前3,前5,前7,前8,前10,前12,前14,後1,後3,後6,後8,後10,後12,後14

			法令やルールを遵守した行動をとれる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,後8,後12,後14,後16
			他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,後4,後8,後12,後14,後16
			自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	2	前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
			その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状に必要な学習や活動を考えることができる。	2	前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
			キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	2	前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
			これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	2	前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
			企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。	2	前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後14
			企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。	2	前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後14

				企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	2	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14,後16
--	--	--	--	----------------------------------	---	---

評価割合					
	試験	発表	課題	ポートフォリオ	合計
総合評価割合	30	10	50	10	100
基礎的能力	30	5	40	10	85
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	5	10	0	15